



# 新しい時代を築く

## 成人者63名

社会人としての第一歩をふみ出される皆様に心からお祝いを申し上げます。皆様には新しい社会の担い手として大きな任務と責任が待ち構えている事を平直に自覚され、雄々しく前進されることを期待いたします。

- (東市布) 田中 耕次 田中 弘
- (下半原) 木島 森夫 木島 尚子
- 横山 一富 石 神実
- 木島 清子 石 神秀
- (荷春) 坂下 文雄 島内 智子
- (箱ヶ瀬) 勢柄 康彦 三島 晴美
- (大谷) 池尾 三雄 森尾 繁夫
- 田中 茂子 池尾 長久
- 河合 敏明 若山 洋子
- 古川 清二
- (影路) 宮沢 巧 佐藤 充美
- 古川 昇
- (米俵) 池尾 清美 見島 高茂
- 大家 敏美 越 治雄
- (伊勢) 乾九郎右エ門 伊東美佐子
- (久沢) 尾崎みつゑ 伊藤美佐子
- 水上美津枝
- (大町) 大町さかゑ
- (下山) 村下 新一 清水美智子
- (朝日) 山本 哲夫 荒 木孝
- (後野) 果守関次郎 古島志づゑ
- (角野前坂) 平瀬 国守
- (小谷堂) 上村 繁代 木島 昭信
- 上杉 信之 竹花 直江
- (上大納) 古川 文男 三坂 久子
- 長崎百合子
- (下大納) 松田恵美子 山内すみゑ
- 木島 誠 京 藤優
- 菅本 貞敏 永井野 徹
- 田 上 駿 長谷川幸子

### 消防団第八分団の雪中訓練

二月十九日、和泉村第八分団(上大納)では消防雪中訓練を行った。この訓練は昭和二十五年二月二十三日大納小中学校に火災が発生したことにより、夏季と異なり消火活動の困難、水利地点の不便等、日常の訓練の重要性を再認識されたものであり、今後万が一の場合に充

### 選挙人名簿確定数

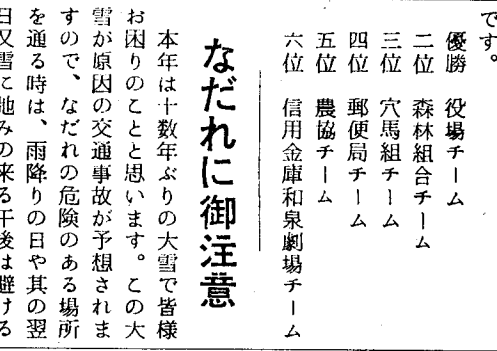
昨年十二月二十日基本選挙人名簿が確定しました。各部落別の有権者数は次の表のとおりです。

部落名	男	女	計	部落名	男	女	計
長野	35	31	64	布原	25	28	51
角野	14	17	31	市原	43	51	94
下大納	12	16	28	上原	98	104	202
上大納	15	14	29	下原	55	65	120
中	80	89	169	島瀬	24	28	52
下	461	341	802	瀬谷	34	33	67
板	60	72	132	持	47	47	94
朝	21	18	39	大	98	97	195
川	93	101	194	野	60	66	126
貝	29	25	54	影	30	33	63
伊	7	10	17	勢	56	62	118
後	41	48	89	伊	48	54	102
坂	15	19	34	勢	616	668	1,284
前	17	19	36	計			
朝	13	11	24				
三	21	17	38				
小							
小	954	871	1,825	合	1,570	1,539	3,109



職場対抗スキー大会

下地区職場対抗スキー大会が二月二十八日、貝皿スキー場に於て二年振りで行われ、開演されました。前日からの悪天候もからりと晴れ、雪量も多くことに楽しかったです。



職場対抗スキー大会

分の活動出来る様以後毎年二月中に雪中訓練を行っているものであります。(写真は消防団の雪中訓練)

### なだれに御注意

本年は十数年ぶりの大雪で皆様お困りのことと思います。この大雪が原因の交通事故が予想されますので、なだれの危険のある場所を通る時は、雨降りの日や其の翌日大雪に地みのある午後には避けるようにして災害を受けない様御注意下さい。

### 冬期失業保険 朝日で支給される

当村は冬期、積雪のために野外産業は全部ストップしてしまおうという特殊地域であるため、冬期に失業保険が支給されることとなり、冬期失業保険は特別に増加し、受給者は一週間に大野まで危険な雪道を、或は白鳥経由で大野へ出ることとなり、折角の保険金も交通費、食糧費に浪費される等のロスが多くなつてきた。したがって保険に加入し恩恵に浴する者も少数であつた。

### これからの製炭

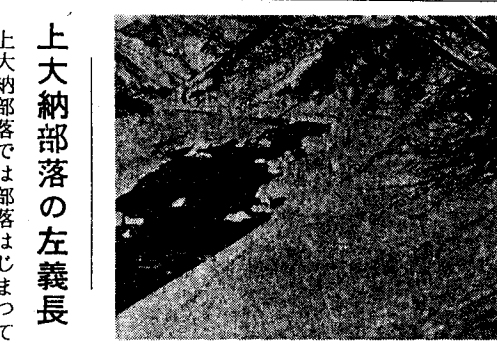
製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。

製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。

製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。

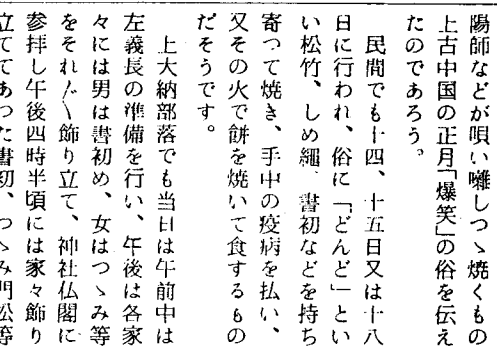
製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。

製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。製炭は農山村にとっては無視する事の出来ない重要な産業である。当村は昔より炭坑で知られてきたが、最近では新炭林の蓄積が減少してきている。



上大納部落の左義長

上大納部落では部落はじまつて以来、毎年二月十四日火祭りの行事(左義長)が行われています。



左義長とは古昔、正月十五日宮中で行われた儀式。清涼殿の東庭に青竹三本束ねて立て、上に扇、短冊主上の吉書等結び付け、陰陽師などが呪い、焼くもの、上古中国の正月「爆笑」の俗を伝えたのである。



左義長とは古昔、正月十五日宮中で行われた儀式。清涼殿の東庭に青竹三本束ねて立て、上に扇、短冊主上の吉書等結び付け、陰陽師などが呪い、焼くもの、上古中国の正月「爆笑」の俗を伝えたのである。

左義長とは古昔、正月十五日宮中で行われた儀式。清涼殿の東庭に青竹三本束ねて立て、上に扇、短冊主上の吉書等結び付け、陰陽師などが呪い、焼くもの、上古中国の正月「爆笑」の俗を伝えたのである。

左義長とは古昔、正月十五日宮中で行われた儀式。清涼殿の東庭に青竹三本束ねて立て、上に扇、短冊主上の吉書等結び付け、陰陽師などが呪い、焼くもの、上古中国の正月「爆笑」の俗を伝えたのである。

### 人のうごき

- 野尻 尾崎 次彦 彦次郎式男
- 東市布 用戸 伊月 一美 式女
- 大谷 大家 君香 由蔵 式女
- 下山 坂下 智英 憲治 式男
- 長野 古世 克明 謙治 長男
- 板倉 佐藤 裕之 博成 長男
- (婿) 岡山泉新見市 上中 義朗
- 米俵 池尾 重子
- 高知県南国市 中山 正吉
- 東市布 川端ゆき子
- 廣島県安芸郡船越町 湊 章夫
- 貝皿 新井美千代
- 持穴 長谷川秀利
- 三重県津市 土生 倫子
- 米俵 池尾 秀次
- 名古屋市昭和区 浅居 和子
- 下大納 松田 和夫
- 野尻 岩上美佐子
- 下半原 林 昌彦
- 大野市 大川千代子
- 名古屋市西区 武藤 辰也
- 箱ヶ瀬 源口恵美子
- 大野市 玉木 達夫
- 伊月 田中 清美
- 中電 大西 輝男
- 中電 長谷川とし子
- 中電 副島 弘
- 中電 松谷 幸枝
- 中電 斎藤 一郎
- 中電 西野 照子
- 大山市 吉野 静男
- 上半原 長谷川みち子
- 荷春 三島 龍馬
- 名古屋市中川区 加藤 幸江
- 大野市上打波 加藤とみ子
- 大野市神明 藤田 尚文
- 後野 古嶋ちか子
- 中電 工藤 久雄
- 箱ヶ瀬 飯村さき子
- 箱ヶ瀬 池田はつる 68才
- 野村きん 87才

### 【死亡】

- 箱ヶ瀬 野村きん 87才

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 下伊勢の観音様

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ

### 部落探訪

大昔から人が住んでいたらしい下伊勢の部落に、あらたかな観音様が鎮座します。太古の人類が使った矢の根石が出てくる台地の一角に、「堂の上」と名付けられたところ、この部落の旧家乾幸一氏の所有地観音様である。観音様の御守役は当主より六代前の先祖からのことはつきりし平」といって所にも大きな池があ